

【研究ノート】

青年層の喫煙防止対策にかかわる自己点検健康度意識調査

～青森県中南地域の大学生及び短大生を対象として～

Adolescent Self-Survey of Health Consciousness Regarding Smoking Prevention
- A Study of Junior College and University Students in South-Central Aomori Prefecture -

吉岡 利忠¹⁾・折井 史仁²⁾・盛 生弥²⁾・工藤千賀子³⁾
YOSHIOKA TOSHITADA・ORII HUMIHITO・MORI IKUYA・KUDO CHIKAKO

對馬 充⁴⁾・伊藤安弥子⁴⁾・今 優希奈⁴⁾・斎藤 昭⁵⁾
TSUSHIMA MITSURU・ITO AYAKO・KON YUKINA・SAITO AKIRA

鳴海 晃⁶⁾・山中 朋子⁷⁾・三上のり子⁷⁾・山田 淑子⁷⁾
NARUMI KOU・YAMANAKA TOMOKO・MIKAMI NORIKO・YAMADA YOSHIKO

キーワード：青年層、禁煙、受動喫煙、健康度意識

和文要旨

青森県健康福祉部保健衛生課から委託を受けた「平成20年度青年層における喫煙・飲酒実態調査」^(2, 3)では、特に喫煙（現在でも吸っている）において全体（含未成年者）で21.5%、男性で26.9%、女性では14.3%と高い比率を示した。これらの分析結果は、青森県中南地域内（津軽地方）の6大学及び4専門学校から有効回答数2,180名（回収率84.9%）から得られた。

既にこの調査から8年程経過し青年層の喫煙に対する意識や最近の喫煙防止の啓発運動の影響も変化してきていると考え、詳細に分析することが今回の大きな研究目的である。今回の対象は中南地域（津軽地方）に存在する4大学及び2短大にアンケート用紙を3,085部配布し2,451部が回収（79.4%）された。喫煙の経験者は96.2%が「ない」、「今は吸ってない」と回答しており、喫煙者は2.3%に過ぎず、前回の報告より大幅に減少し、男女別ではそれぞれ7.2%、2.3%であった。喫煙開始時年齢は前回と比較して高齢化が進み中・高生の減少が著しい。喫煙のきっかけは「友人に勧められて」が最も多く、喫煙の継続は「何となく」や「ストレス解消」であり、前回とほぼ同様の結果であった。受動喫煙については飲食店などで「時々ある」が63.9%、禁煙にしてほしい施設は「飲食店」、「医療機関」、「教育施設」と続いた。青年層の喫煙に関する分析結果は、今後の地方・県行政の喫煙防止対策、喫煙と各種疾患と関係についての正しい知識の涵養、自分自身で健康増進・保持を進めるうえで貴重な資料となった。

1) 弘前学院大学社会福祉学部 2) 弘前学院大学社会福祉学部学生 3) 弘前学院大学看護学部
4) 弘前学院大学総務課 5) 弘前学院大学電子機器管理センター 6) ナルミクリニック
7) 中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）健康増進課

はじめに

2000（平成12）年に第3次国民の健康づくり対策として21世紀国民健康づくり運動（健康日本21）が開始された。健康維持・増進を普遍的なものにするために、運動習慣、肥満、糖尿病・循環器疾患、歯の健康など9項目についてそれぞれ数値目標を達成するためあらゆる施策・対応がとられた。その後、2003年に健康増進法が設定され、第2次健康日本21と続いたが十分に満足する数値を得られた項目は多くなかった。青森県では、「健康あおもり21」として、生活習慣病対策、こころの健康づくり、を柱として「肥満予防」、「喫煙防止」そして「自殺予防」を重点項目とした⁽¹⁾。

青森県の平均寿命、健康寿命は全国最下位という、いわゆる短命県として不名誉な記録が続いている。青森県民の死亡率で高いのは悪性新生物（ガン）、脳血管疾患、循環器病、肺炎などであり、これらの疾患には喫煙が強く影響していることは周知の如くである。最近は、なんとしてでもこの状況から脱却しなければならぬと県民がこころを一つにしてさまざまな対応・行動が開始されている。

特に若い時からの喫煙は各種疾病発症に強く影響する。戦略プロジェクト（健康寿命プロジェクト）として喫煙対策からはじめる若者「健やか力」向上事業として、今回の研究が前回に引き続き委託された。学生が主体となり調査・研究・報告をすることで、同じ年代の生徒、学生の健康についてアドバイスができるという健康教育もその背景にある。さらにこの研究結果から青年層の健康度意識や自分自身の喫煙防止対策などのスキルアップ、各種有効的な禁煙対策、禁煙のための環境対策を期待するものである。

研究方法

1. 調査対象、調査項目

青森県中南地域県民局管内（津軽地方）にある大学及び短大の学生（弘前大学、東北女子大学、東北女子短大、弘前医療福祉大学、弘前医療福祉短大、弘前学院大学）を対象に健康度意識調査委員会で作成したアンケート調査表を配布した（表1）。調査票には健康（16項目）、喫煙（17項目）及び飲酒に関する項目（4項目）が含まれているが、今回は「喫煙」に関する項目を対象とした。

2. 調査時期

調査票の作成・印刷、配布・回収、データ入力・集計は2015（平成27）年9月から翌年1月となり、報告書の作成は3月中に終了した。

3. 倫理的配慮

対象各大学・短大の学長および代表者に本研究の目的及び研究方法について詳しく書面をもって説明し同意を得た。それぞれの大学に在学し本研究に参加する学生に対しても同様に説明し同意を得た。学生には調査研究への協力は強制的ではないこと、内容についての質問や意見は自由にでき、個人情報漏えいの順守、医学的研究のヘルシンキ宣言に基づいて行うことを口頭で説明した。また、結果報告に関しては関係部署による報告書及び学術論文として作成することの了承を得た。

結果

4大学、2短大にアンケート用紙計3,085部を配布し2,451部を回収し回収率は79.4%であった。そのうち性別及び年齢が記載されていない調査表24部を除き2,427部を分析の対象とした。男女別、年齢構成は表2に示されているが、約70%が女性の回答者であった。年齢別では22歳以下が95.6%であった。

喫煙の経験については、「喫煙したことがない」、「いまは吸っていない」という回答を合わせると96.2%となり、喫煙者は3.8%に過ぎない。表3には男女別、年齢別のデータを比率で示しているが、そのうち男性喫煙者は7.2%、女性では2.3%であった。現在も吸っているのは24歳以上の男性であった。

喫煙時年齢、すなわち初めて喫煙した時の年齢については、大学生で60.9%、中学生で20.2%、高校生で14.3%であった。喫煙の動機では、「友人にすすめられて」(31.0%)、「ただなんとなく」(19.0%)、「興味があったから」(18.2%)、「ストレス解消のために」(12.8%)、が上位4を占め、「気分転換のため」、「かっこよく見えたから」、「家族や友人等周囲が吸っているのだから」、「大人になった気分になれるから」、「やせるから」、「家族にすすめられて」、が続いた。また、88.4%の回答率で喫煙を勧めたことがなく、一方では喫煙を勧めたことがあるという回答も11.2%に上り、勧めた相手は友人や後輩ということであった。喫煙を勧められた時に実際吸ったという回答は全体の36.3%であった。

このところ問題視されている受動喫煙についての項目では、「常にある」、「時々ある」と回答した男女の比率は63.9%に上り(表4)、受動喫煙の場所では飲食店、自宅、友人・知人宅、遊戯・娯楽施設(カラオケ、ゲームセンター等)が上位4位を占める。受動喫煙の対応としては、「タバコの煙は嫌だが我慢する」、「タバコの煙を吸わないように移動する」、が一位、二位であり、三位には「気にならない」、とあった。「タバコを吸わないで欲しい」とか、「タバコの煙があるところには最初から行かない」、の項目は極めて低かった。複数回答で調査したが、禁煙にして欲しい施設は、飲食店、医療機関(病院、歯科診療所等)、教育施設(学校等)、交通機関(電車、バス)が上位を占めた。

喫煙と病気に関しては表1の項目の全て{1から10まで}に喫煙が影響するが、その中でも慢性閉塞性肺疾患(COPD)、喘息、歯周病、皮膚の老化、脳溢血(脳卒中)・脳梗塞、狭心症がそれぞれ10数%を占めた(表5)。

なお、本研究結果は共同執筆者の学生二人によって「若者(学生)の健康意識調査」と題し弘前市のスペースデネガにおいて発表され(2016年3月1日)、さらに、「タバコ0社会を実現するために～タバコフリー世代を育てよう～」と題し弘前市文化センターにおいて世界禁煙デー2016記念フォーラムin弘前のフォーラムの1演題として発表された(2016年5月29日)。

考察

青森県民は男女ともに平均寿命・健康寿命は最下位に甘んじさまざまな対策がなされているにも関わらず相も変わらず底辺から脱出することができず短命県と言われている。この汚名返上に向けて県関係部署からの施策・方略ならびに県民こぞって健康への関心度アップがここ数年盛り上がりを見せていることは喜ばしい。

タバコの煙には2,000種以上の化学物質が含まれ、そのうち発がん性の物質は40種以上にもなる。喫煙はがん、脳血管障害、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、成長障害、歯科・口腔内疾患、妊婦への影響、その他さまざまな健康障害を引き起こすことが科学的に証明されている⁽⁷⁾。

青年層を対象とした8年前の分析結果から⁽²⁾注目すべき点は、喫煙者が21.5%から3.8%と激減したことである。特に、20歳代男子の禁煙率が高く全体の喫煙率の低下の要因となっている(表3)。前回の分析結果では比較的若い時に喫煙を始めていたが、今回では喫煙年齢が高齢化している。今回の調査では男性喫煙者は女性より多いが、女性の回答者が約7割を占めているということも考慮しても喫煙開始年齢が遅くなったことは、これまでの青森県庁関係部署の禁煙対策が著効したこと⁽³⁾、小中高における健康教育・保健活動などが充実していることが強く影響していると考えられる⁽⁴⁾。禁煙先進国と言われる欧州、北米などの喫煙に関する動向を見ても、本邦のタバコ消費量も年々減少している⁽⁶⁾。この流れは決して留まることのないように今後とも適切な対策を取らなければならない。今回、報告の機会があった世界禁煙デーにおけるフォーラムのみならず、学術会議や大会、県や市町村が主催する禁

煙に関わる情報提供、教育・研究などの禁煙キャンペーンを積極的に進める必要がある⁽⁶⁾。

青森県内の大学、短大や高等専門学校計17校のうち敷地内禁煙を実施しているのは13校（76.5%）、私立高校では10校（58.8%）であり⁽⁵⁾、建物内禁煙や建物内分煙としている状況も続いている。これにしても敷地内禁煙とすべきであろう。2003年健康増進法施行後、県立全高校が敷地内禁煙としていることも今回の調査結果に反映されているものと考えられる。さらに健康増進法では、公共施設、飲食店などでは敷地内を禁煙とするとされているが、多くの場合は喫煙が許されている⁽⁵⁾。罰則規定はないもののこの傾向は徐々にでも順守していかなければならない。

タバコは喫煙者自身のみならず周囲にいる非喫煙者にも悪影響を及ぼし、いわゆる受動喫煙の健康障害が証明されている^(7, 8, 9)。タバコの煙から直接喫煙者に吸い込まれる主流煙、大気中の散布される副流煙があるが、これにも発がん物質を含む2,000種以上の化学物質が含まれる。乳幼児突然死症候群は家庭内の喫煙者の存在、保護者の喫煙と密接に関係している^(6, 10)。

日本学術会議からはタバコの健康障害、環境汚染、経済的損失の面から7つの提言を行っている⁽¹⁰⁾。いくつか挙げてみると、タバコの直接的・間接的健康障害につきなお一層の教育・啓発を行う、喫煙率削減の数値目標を設定する、職場・公共の場所での喫煙を禁止する、未成年者喫煙禁止法を遵守し次世代の国民を守る、などである。

今回の調査では、若者の喫煙率が著しく低下していること、受動喫煙には自身の健康を守るために積極的な対応を取っていること、すなわちタバコ離れが促進しており、このことによる健康意識の高揚を認め、青少年への禁煙教育をさらに充実することにより短命県の返上が期待される。しかし、喫煙と病気との関連性についての認識不足に対しては、学校教育、保健医療福祉に携わる教育機関の人たちのさらなる努力が必要である。

謝辞

本研究は青森県の中南地域局地域健康福祉部保健室（弘前保健所）健康増進課による喫煙対策からはじまる若者「健やか力」向上事業の一つである、若者が実践！「健やか力」リサーチ事業の委託を受けて行った。

引用文献

- 1) 吉岡利忠、木村紀美、漆坂真弓、斎藤昭、吉田光子、一戸佳代子、三浦有希（2010）青森県における青年層の飲酒実態について、弘前学院大学社会福祉学部研究紀要、10、89-98.
- 2) 漆坂真弓、木村紀美、斎藤昭、吉田光子、一戸佳代子、三浦有希、吉岡利忠（2009）A 県内の大学生・専門学生生の喫煙の実態、青森県立保健大誌、10(2)、175-190.
- 3) 吉岡利忠、木村紀美、漆坂真弓、斎藤昭、吉田光子、一戸佳代子、三浦有希（2008）平成20年度青年層の喫煙・飲酒実態調査結果報告書、青森県健康福祉部、弘前学院大学、1-51.
- 4) 吉岡利忠、對馬充、折井史仁、盛生弥（2016）平成27年度市町村の喫煙防止対策自己点検調査、中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）、弘前学院大学、1-24.
- 5) 朝日新聞地方版記事（2016）、学校の敷地内禁煙、進まず、医師らの市民団体調べ、昨年と同数、2016（平成28）年7月14日
- 6) 唐木英明、加賀谷淳子、瀬戸院一、大野竜三ら（2008）脱タバコ社会に実現に向けて、日本学術会議、1-27.
- 7) World Health Organization. The World Health Reports. Reducing risks, promoting health life (2002) Geneva. WHO
- 8) Scientific Committee on Tobacco and Health (SCOTH). Department of Health (2004).
- 9) Secondhand smoke. Review of evidence since 1998. Update of evidence on health effects secondhand smoke.
- 10) 藤原久義、阿部忠之、飯田真美、他（2006）禁煙ガイドライン、日本公衛誌、5、355-374.

表1

平成27年度 若者（学生）の健康度意識調査

○この調査は、弘前市内にある大学に在籍する学生の健康に関わる意識や知識及び生活習慣を知るための調査です。あなたが考えること、実際に行っていることにお答えください。

【実施主体：中南地域県民局地域健康福祉部保健総室（弘前保健所）】

【調査委託機関：学校法人弘前学院 弘前学院大学】

I あなたの性別・年齢、生活背景

質問1 あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男 2. 女

質問2 あなたの年齢を書いてください。 () 歳

質問3 あなたの出身地について、あてはまる番号に○をしてください。

1. 青森県内 2. 青森県外 (都道府県名:)

質問4 あなたは、現在どこに住んでいますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。

1. 実家 2. アパート等集合住宅での一人暮らし 3. 学生寮・下宿
4. その他 ()

II 現在の健康状態・関心について

質問5 現在の体調はいかがですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。

1. とてもよい 2. よい 3. ややわるい 4. わるい

質問6 あなたは、健康について関心や興味はありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。

1. とてもある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない

III 健康の意識や行動について

質問7 あなたの健康に関わる日常生活の意識や行動で、最も近いものに○をしてください。

1. 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上行っていますか (はい・いいえ)
2. 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年間以上行っていますか (はい・いいえ)
3. ほぼ決まった時間に食事をしていますか (はい・いいえ)
4. ほとんど毎日朝食を食べていますか (はい・いいえ)
5. 就眠前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか (はい・いいえ)
6. よく食べ過ぎることがありますか (はい・いいえ)
7. ダイエットで、3ヵ月間～1年間に元の体重の10～30%以上、体重が減ったことがありますか
(体重50kgの人であれば、3ヵ月間～1年間に5～15kg以上の減少) (はい・いいえ)
8. 定期的に体重をチェックしていますか (はい・いいえ)
9. 汁のある麺類(カップめん・インスタントラーメンを含む)をよく食べますか (はい・いいえ)
10. 食品を購入するとき栄養成分の表示を参考にしますか (はい・いいえ)
11. 野菜料理を朝・昼・夕食ごとに1～2品は食べていますか (はい・いいえ)
12. 睡眠を6時間以上とっていますか (はい・いいえ)
13. こころの健康のために、ストレスの解消を積極的に行っていますか (はい・いいえ)
14. SNS・ゲームづけにならないよう注意していますか (はい・いいえ)
15. 歯の検診を定期的に受けていますか (はい・いいえ)
16. 女性の方がお答えください。子宮がん検診を受けたことがありますか (はい・いいえ)

IV タバコに関すること

質問8 今までに、1回でもタバコを吸ったことはありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 吸ったことはない→質問14以降に進んでください
2. 吸ったことはあるが、今は吸っていない } 質問9以降に進んでください
3. 現在も吸っている

質問9 タバコをはじめて吸ったのはいつ頃ですか。あてはまるものを1つ選んで、()に何年生か記入してください。大学生の場合は年齢も書いてください。

1. 小学校入学前
2. 小学 () 年生
3. 中学 () 年生
4. 高校 () 年生
5. 大学 () 年生 (年齢 歳)

質問10 タバコをはじめて吸ったきっかけはなんですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。

1. 興味があったから
2. 友人に勧められて
3. かっこよくみえたから
4. 大人になった気分になれるから
5. 家族に勧められて
6. ただ何となく
7. ストレス解消のため
8. 気分転換のため
9. やせるから (太らないから)
10. 仲間意識が持てるから
11. 家族や友人等周囲が吸っているのだから
12. その他 ()

質問11 あなたが、タバコを吸っている・吸っていた理由は何ですか。あてはまるものを3つ選んで、番号に○をしてください。

1. おいしいと感じるから
2. やめる理由がないから
3. いつでもやめられると思うので
4. くせ (習慣) になったため
5. コミュニケーションのため
6. 家族や友人等周囲が吸っているのだから
7. ただ何となく
8. 気分転換のため
9. ストレス解消のため
10. やせるから (太らないから)
11. 飲酒のついでに
12. その他 ()

質問12 あなたは、周囲の人にタバコを勧めたことはありますか。あてはまる番号に○をしてください。

1. ない→質問14以降に進んでください
2. ある→質問13以降に進んでください

質問13 あなたは、誰にタバコを勧めましたか。あてはまるものを選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)

1. 兄弟姉妹
2. 友人
3. 後輩
4. その他 ()

質問14 あなたは、周囲の人からタバコを勧められたことはありますか。あてはまる番号に○をしてください。

1. ない→質問17以降に進んでください
2. ある→質問15以降に進んでください

質問15 あなたは、誰にタバコを勧められましたか。あてはまるものを選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)

1. 父
2. 母
3. 兄弟姉妹
4. 友人
5. 先輩
6. その他 ()

質問16 あなたは、タバコを勧められてタバコを吸いましたか。あてはまる番号に○をしてください。

1. 吸った
2. 吸わない

質問17 あなたの周囲の人で、タバコを吸う方を選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)
1. 父 2. 母 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. 友人 6. 先輩・後輩
7. その他 ()

質問18 あなたは、自分の意思に関係なく周囲の人のタバコの煙を吸うこと(受動喫煙)がありますか。
あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。
1. ほとんどない →質問20以降に進んでください
2. 時々ある } 質問19以降に進んでください
3. いつもある }

質問19 あなたの受動喫煙となる場所を選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)
1. 自宅 2. 友人・知人宅
3. 官公庁(市町村役場等) 4. 文化・観光施設(文化会館、公民館等)
5. 教育施設(学校等) 6. 医療機関(病院、歯科診療所等)
7. 体育施設(体育館等) 8. 交通機関(電車・バス等)
9. 飲食店 10. 宿泊施設(ホテル・旅館等)
11. 遊技・娯楽施設(カラオケ、ゲームセンター等)
12. その他 ()

質問20 他人のタバコの煙を吸わされてしまう(受動喫煙)時、あなたは主にどうしていますか。
あてはまるものを1つ選んで、番号に○をしてください。
1. 気にならない
2. タバコの煙は嫌だが、我慢する
3. タバコの煙を吸わないよう場所を変わる
4. タバコの煙のあるところには最初からいかない
5. タバコを吸わないほしいと言う

質問21 あなたが、禁煙化をすすめてほしい施設はどこですか。あてはまるものを選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)
1. 官公庁(市町村役場等) 2. 文化・観光施設(文化会館、公民館等)
3. 教育施設(学校等) 4. 医療機関(病院、歯科診療所等)
5. 体育施設(体育館等) 6. 交通機関(電車・バス等)
7. 飲食店 8. 宿泊施設(ホテル・旅館等)
9. 遊技・娯楽施設(カラオケ、ゲームセンター等)
10. その他 ()

質問22 あなたが、次の病気等で、タバコを吸うことに関係していると思うものを選んで、番号に○をしてください。(複数回答可)
1. 皮膚の老化 2. 歯周病 3. 狭心症 4. 慢性閉塞性肺疾患(シオビデー COPD)
5. 未熟児出生 6. 喘息 7. 乳がん 8. 脳出血・脳梗塞 9. 胃潰瘍 10. 認知症

《質問8で、3「現在もタバコを吸っている」と回答した方にお尋ねします。これ以外の方は質問24以降に進んでください》

質問23 現在あなたは、禁煙することにどのくらい関心がありますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
1. 関心はない →質問25以降に進んでください
2. 関心はあるが、今後6カ月以内に禁煙しようとは考えていない
3. 今後6カ月以内に禁煙しようと考えているが、直ちに禁煙は考えていない } 質問24以降に進んでください
4. 直ちに禁煙しようと考えている

質問24 禁煙を考えた（関心がある）大きな理由は何ですか。あてはまるものを選んで、番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 健康上の不調を感じたことはないが、その可能性が心配になったから
2. 健康上の不調を感じたから
3. 人から禁煙を勧められたわけではないが、タバコを吸う者は批判的にみられるから
4. 人から禁煙を勧められたから
5. 家族や他者への健康への影響を考えて
6. 就職に影響があるから
7. 吸える場所が少なくなってきたから
8. 周りが禁煙を始めてきたから
9. タバコは美容に悪いから
10. その他（ ）

V 飲酒に関すること

質問25 あなたがお酒を飲む頻度はどのくらいですか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 飲まない→質問27以降へ進んでください
 2. 年に1～2回
 3. 月に1～2回
 4. 週1回くらい
 5. 週3回くらい
 6. ほぼ毎日
- 質問26以降に進んでください。

質問26 あなたが1回に飲むお酒の量は、だいたいどれくらいですか。【注】を参考に、もっともあてはまるもの1つ選んで、○をつけてください。

1. 1合未満
2. 1合～2合未満
3. 2合～3合未満
4. 3合～4合未満
5. 4合～5合未満
6. 5合以上

【注】清酒1合（180ml）は、以下の量にほぼ相当します。
（純アルコール20gに相当）
ビール中ビン1本（500ml）、チューハイ7度（350ml）、
ワイン2杯（240ml）、焼酎20度（135ml）、焼酎25度（110ml）、
焼酎35度（80ml）、ウイスキーダブル1杯（60ml）

質問27 あなた自身、または、あなたの周りで、“イッキ飲み”で具合が悪くなった（急性アルコール中毒*）人はいましたか。あてはまる番号に○をしてください。

1. いらない
2. いた

*アルコールの急激な血中濃度の上昇により、意識障害（昏睡）、呼吸困難に陥った状態で、死亡の危険性もあります。日本人の約半分は、アルコールを分解する酵素が少ないか、またはない体質の方がいますので、無理にお酒を勧めない必要があります。

質問28 あなたが、次の病気等で、過度な飲酒*と関係していると思うものを選んで、番号に○をしてください。（複数回答可）

1. 皮膚の色素沈着
2. むし歯・歯周病
3. うつ病
4. 肝硬変
5. 貧血
6. 痛風
7. 月経不順
8. アルコール性認知症
9. 胎児性アルコール症候群
10. インポテンツ

*過度な飲酒とは、生活習慣病等様々な病気のリスク高める飲酒量で、純アルコール量に換算して、男性で1日平均40g以上、女性では20g以上（男性の半分の量）をいいます。

書き終わりましたら、封筒に解答用紙のみ入れて提出してください。

★御協力ありがとうございました★

表2 性別、年齢別

	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳以上	計
男	63	196	186	152	81	19	3	3	3	23	729
女	171	543	506	283	139	17	3	4	0	32	1698
計	234 (9.6)	739 (30.4)	692 (28.5)	435 (17.9)	220 (9.1)	36 (1.5)	6 (0.2)	7 (0.3)	3 (0.1)	55 (2.3)	2427

表3 喫煙の経験

	全 体		男 子		女 子	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
経験ない	2127	88.3%	574	79.3%	1553	92.2%
今は吸っていない	191	7.9%	98	13.5%	93	5.5%
今も吸っている	91	3.8%	52	7.2%	39	2.3%
計	2409		724		1685	

表4 受動喫煙の有無

	全 体		男 子		女 子	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
ほとんどない	875	36.1%	270	37.1%	605	35.7%
時々ある	1249	51.6%	378	51.9%	871	51.5%
いつもある	297	12.3%	80	11.0%	217	12.8%
計	2421		728		1693	

表5 喫煙と病気の関係

	全 体		男 子		女 子	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
皮膚の変化	1255	52.7%	304	42.8%	951	56.9%
歯周病	1575	66.1%	454	63.9%	1121	67.0%
狭心症	1092	45.8%	368	51.8%	724	43.3%
慢性閉塞性肺疾患	1607	67.4%	497	69.9%	1110	66.4%
未熟児出生	1367	57.4%	311	43.7%	1056	63.2%
喘息	1603	67.3%	449	63.2%	1154	69.0%
乳がん	475	19.9%	141	19.8%	334	20.0%
脳溢血・脳梗塞	1119	47.0%	353	49.6%	766	45.8%
胃潰瘍	396	16.6%	141	19.8%	255	15.3%
認知症	319	13.4%	110	15.5%	209	12.5%
計	10808		3128		7680	
回答者	2383		711		1672	